

J Aバンク東京における地域密着型金融の取組状況（令和3年度）

J Aバンク東京（都内14 J Aと J Aバンク東京信連）では、農業と地域社会に貢献するため、J Aバンク東京中期戦略（平成31～令和3年度）に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。

令和3年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 都市農業等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

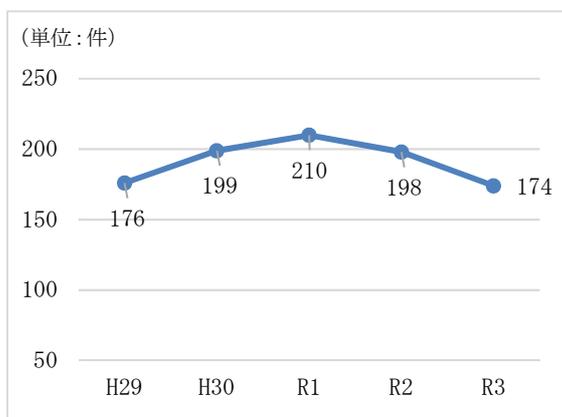
（1）農業融資商品の適切な提供・開発

各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金（公庫直貸除く）の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

J Aバンク東京は主要な農業関係の制度資金である、「農業近代化資金」について、都内金融機関で唯一取扱いができる金融機関となっています。

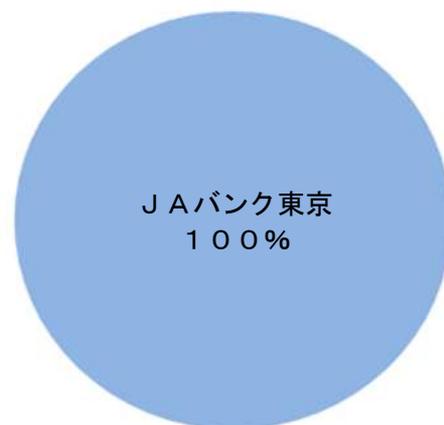
【農業資金の新規実行件数】

（平成29～令和3年度実績）



【農業近代化資金の取扱いシェア（東京都）】

農業近代化資金 向け貸出金残高シェア
（令和3年度末）



(2) 農業関係資金の貸出金残高

令和3年度末時点の農業関係資金貸出残高^(注1)は6,311百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は385百万円を取扱っています。

- (注) 1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。
- 2 J Aバンク東京が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別】 (単位：百万円)

種 類	令和3年度末現在
農業	3,441
穀作	15
野菜・園芸	408
果樹・樹園農業	14
工芸作物	12
養豚・肉牛・酪農	76
養鶏・鶏卵	351
養蚕	0
その他農業	2,561
農業関連団体等	2,870
合 計	6,311

- (注) 1 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業関連サービス業が含まれています。
- 2 「農業関連団体等」には、J Aや全農とその子会社等が含まれています。

【資金種類別】 (単位：百万円)

種 類	令和3年度末現在
プロパー農業資金	6,277
農業制度資金	34
農業近代化資金	32
その他制度資金	1
合 計	6,311

- (注) 1 「プロパー農業資金」とは、J Aバンク東京原資の資金を融資しているうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJ Aバンク東京が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJ Aバンク東京が低利で融資するものを対象としています。
- 3 「その他制度資金」には、農業経営負担軽減支援資金等が該当します。

【農業向けの受託貸付金】 (単位：百万円)

種 類	令和3年度末現在
日本政策金融公庫資金	385
合 計	385

- (注) J Aバンク東京では、主にJ Aを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取扱っています。

(3) 担い手のニーズに応えるための取組み

地域の農業者のニーズに応えるため、JAでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、令和3年度末時点で都内14JAの本店に15名・信連本店に2名設置しております。

また、JA系統独自の農業融資資格制度「JAバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は令和3年度末時点で都内に183名在籍しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

(4) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

JAバンクでは、お客様よりJAの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測(農業メインバンクCS調査)を行っています。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等の融資商品や新規就農者の育成支援にかかる助成事業として新規就農応援事業(営農支援事業・研修支援事業)を取り扱っています。

【新規就農者向け資金の取扱い実績】 (単位：件、百万円)

	実行件数	実行金額	年度末残高
青年等就農資金	2	3	96
その他	2	7	12
合計	4	10	108

【新規就農応援事業の取扱い実績】 (単位：件、百万円)

	件数	助成金額
営農支援事業	17	3
研修支援事業	18	10
合計	35	13

(注) 1 営農支援事業とは、新規就農者を対象に農業経営にかかる費用に対して助成金を支払う事業です。

2 研修支援事業とは、新規就農前の研修生を受け入れている農業者を対象に研修にかかる費用に対して助成金を支払う事業です。

(2) 研修会・セミナー等の開催・参画

農業経営に関する研修会・セミナー等を開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

【研修会・セミナー等開催・参画状況】

研修会・セミナー名	開催日	主催者	参加者	内 容
農作業安全講習会	季節に1~2回程度	J A にしたま	農業者	季節に1度程度、農業者向けに農業機械の安全講習会を実施
農耕用大型特殊免許取得講習会	8回/令和3年度	J A にしたま	農業者	トラクター等の公道走行取締りの強化に伴い、農業者に対し、大特免許取得を促し、その試験対策講習会として令和3年度に講習会を8回実施。
令和3年度 特定生産緑地説明会	令和3年10月24日	J A 八王子	組合員 5名	

(3) 経営不振農家の経営改善支援

負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

	期初経営改善支援取組先	Aのうち再生計画を策定した先数	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
		a	b	c		
正常先①	0	0	—	0	—	—
要注意先	うち その他要注意先②	2	0	0	—	—
	うち 要管理先③	0	0	0	—	—
破綻懸念先④	0	0	0	0	—	—
実質破綻先⑤	0	0	0	0	—	—
破綻先⑥	0	0	0	0	—	—
	小計 (②~⑥の計)	2	0	0	—	—
	合 計	2	0	0	—	—

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は令和3年度末時点のものです。

3 都市農業等地域育成への貢献

地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 食・農への理解促進

地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、令和3年度には都内小学校1,347校の5年生を対象に129,491冊配布し、学校の授業等において活用されています。

また、都内JAでは、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	活動内容
西東京	あぐりキッズスクール	ジャガイモ等の種まき・収穫
にしたま	親子農業体験教室	さつまいもの植付・収穫
あきがわ	あぐりスクール	親子を対象とした農業体験
八王子	学童農園	農業体験
東京みなみ	夏休みこども村	農業学習、収穫体験
町田市	学童農園施設事業	稲作体験学習
マインズ	アグリ体験塾	枝豆の種まき・トウモロコシの定植
東京みどり	稲作体験学習	稲作体験
東京みらい	地場産野菜収穫体験	さつまいも収穫体験
東京むさし	学童農園	収穫体験発表、収穫物の展示
東京中央	屋上田んぼ教室	田植え、稲刈り
世田谷目黒	給食から学ぼう	地場産野菜（大根）の提供 区内の農業について学ぶ
東京あおば	夏休みこども村	自然体験、農業体験、生活体験
東京スマイル	学校給食への食材提供	地場産野菜（小松菜）の提供

(注) 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、体験学習を自粛した活動もございます。

以上